

平成20年度 事業報告

アメリカ発の経済不況が世界を駆け巡り、輸出大国日本も大きな影響を受け派遣社員の首切り、賃金カット、昇給ストップ、暗いニュースが駆け巡る20年度でした。この様な状況下にあっても医療は立ち止まることが許されません。我々検査技師には質の良い検査を迅速に提供することが要求されています。提供する良質な検査結果は良質技師の技術によって担保されるものです。良質な検査結果を生み出すため検査技師は日々知識や技術向上を図らなければなりません。そのため社団法人京都府臨床検査技師会は職能団体として個々の会員の皆様にその場を提供するための事業を実施しました。

総会において承認された新役員体制で各事業に取り組んでまいりました。各理事、研究班長をはじめ事業に参加された皆様のご努力によって、計画された事業がほぼ執行されましたことに感謝いたします。

京臨技事業の中心となる研修会事業においては低迷していた臨床化学研修会・講演会が荻野学術部長、藤本技師(奈良県技師会理事)を中心に合計7回開催されました。京臨技精度管理事業においては、初めて合同の報告会を開催いたしました。11月22日メルパルクにおいて開催された京都府医師会・技師会合同学術研修会においては医師会の先生方の参加が非常に多く大変喜ばし事でした。エイズ撲滅キャンペーン活動を日臨技の呼びかけに答え11月29日「新風館」(京都市中京区)周辺においてメディア放映にあわせて撲滅キャンペーンのチラシとティッシュを配布しエイズ撲滅の啓発活動を実施しました。また、今年度初めての試みとして奈良・京都臨床技師会合同スキーツアーを企画開催しました。

第49回近畿医学検査学会を担当するに当たり学会準備委員会ならびに運営委員会を立ち上げ、開催日時を平成21年11月28日(土)・29日(日)、会場を京都市勧業会館「みやこめっせ」に決定しました。特別講演は堀場製作所最高顧問の堀場雅夫氏に決定し承諾を得ました。教育講演は、大阪府済生会吹田病院の岡上武先生に、公開講演を綾部市立病院院長の白方秀二先生とワコール人間科学研究にお願いし承諾を得ました。12月にはシンポジウム打ち合わせ会議を開催し、近臨技の各研究班長に参集していただいて、その内容を決定しました。

1. 啓発および保健衛生事業

1-1 第35回くらしと健康展が9月13日(土)・14日(日)、京都府総合見本市会館(パルスプラザ)にて「目指そう!脱メタボ」をテーマに京都府医師会・京都府糖尿病協会・京都市栄養士会・京都府臨床検査技師会・京都府看護協会・京都府放射線技師会・京都禁煙推進研究会・京都市・京都府の主催で行われました。

両日にわたる検査コーナーでは、血糖検査:1,079名、心電図検査:605名、

展示コーナーでは、睡眠時無呼吸検査の機器展示や病態について説明を行いました。

1-2 京都府医療推進協議会主催イベント

「みんなで老後を考えよう-社会保障が約束する安心の将来を目指して-」のテーマのもと、11月19日(土)京都市勧業館(みやこめっせ)にて構成団体31団体、協賛会社31社の参加で開催されました。「展示ゾーン」「相談ゾーン」「検査ゾーン」をはじめ、ポスター展示で「子宮がんを受けましょう」と「医療現場のスペシャリスト・臨床検査技師」や、「臨床検査相談コーナー」では、兵庫県臨床検査技師会作成のCDを使い、多くの方に検査について知つてもらいました。パンフレット配布では、「乳がんからあなたを守るために」と「肺癌検査について」を配布しました。

1-3 一次救命処置講習会(AED操作含む)

1月24日、京都保健衛生専門学校にて開催しました。講師は日本赤十字社京都支部より2名をお招きし、会員5名と保健衛生専門学校学生の参加で講習を受けました。講習では心肺蘇生法と自動体外式除細動装置(AED)を用いた除細動の手順についてを学び技術を習得できて良かったと思います。講習終了後には赤十字救急法短期講習受講者(一次救命処置コース①)の受講証が渡されました。

1-4 エイズ予防啓発活動

11月29日(土)11時から15時までエイズ予防啓発活動(世界エイズデー)大型映像メディア放映の開始にあわせて、LED大型スクリーンのある「新風館」およびその周辺(京都市中京区烏丸御池交差点付近)にて、チラシおよびポケットティッシュの配布を行った。「新風館」では、デビューシングル「アイのうた」(TBS系ドラマ「恋空」主題歌)をリリースされた、福井 舞さんのミニライブが開催されるなどのイベントがあり、多くの若者が集まつたため、20代の若者を中心に効果的なエイズ予防啓発をPRすることができた。理事を含め参加した実務委員は30名でした。

2. 研究・研修会事業

2-1 各研究班は日臨技生涯教育に沿った研修会、講演会、実技講習会を合計52回開催した。参加者数は、生理検査428人、輸血検査202人、免疫血清検査18人、血液検査209人、臨床化学検査228人、病理検査116人、細胞検査108人、一般検査201人、微生物検査56人、情報システム3人、北部研究班136人、チーム医療関連38人、延べ1,743人(会員1,355人、学生6人、仮会員12人、非会員370人)の参加がありました。

2-2 第43回京都病院学会が6月8日(日)に京都府医師会館、京都市立看護短期大学で開催されました。テーマは「地域医療連携」、特別公演には宗教学者で元国際日本文化研究センター長の山折哲雄氏を迎えて行われ、京臨技からは実行委員1名、実務委員4名を派遣し積極的に参加しました。本学会の参加者数1840名、演題数385題でした。

2-3 第10回新入・転入会員研修会を9月5日(金)18:00~21:00、京都教育文化センターに於いて開催し今井会長の新入会員に向けた挨拶から始まり、小澤総務部長からは京臨技に関する説明主にホームページ紹介と事務手続きの説明の後、荻野学術部長からは学術部活動の説明があり、積極的な技師会活動の参加を呼びかけました。

講演は芦田副会長から「チーム医療・感染症対策支援」という演題にて講演され、様々な京臨技の取組を発表されました。参加者は新入会員20・仮会員1・会員3・研究班長8・理事&担当事務14計46名と盛況でした。

2-4 第19回京臨技北部学術発表会を12月13日(土)に福知山市のコスタヴィノスにて開催し、全体で85名の参加がありました。特別講演は、櫻林郁之介先生(自治医科大学教授)に「未病学における臨床検査の役割-臨床検査技師の役割拡大に期待して-」と題した講演をしていただき、府市民への健康啓発に務めました。また、6題の一般演題が発表され会員の活発な学術活動の場となりました。

2-5 京都府医師会・京都府臨床検査技師会合同学術講演会を平成20年11月22日(土)15:00~17:00、メルパルク京都6階会議室において開催されました。甲状腺疾患について、2人の演者に講演をしていただいた。猪俣恵子 臨床検査技師;「甲状腺検査データの見方と臨床へのアプローチ」、佐々木一朗 内科医師;「甲状腺疾患への対応のしかた ~治療法の選択と患者さんへの説明のコツ、専門医へ依頼するケース~」

参加人数は、医師会会員 51 人、臨床検査技師会会員 39 人、賛助会員 8 名、非会員 2 人と 80 名定員の会場は立ち見ができ、臨床医からの質問が多く盛況でした。

3. 精度管理事業報告

3-1 第 24 回京都府臨床検査技師会精度管理調査を 10 月 30 日から 11 月 14 日の期間で実施しました。今年度は、日臨技のデータ共有化事業も兼ね、参加施設数は 91 施設と前年度の 87 施設を上回りました。また、全研究班一同に会して「精度管理事業合同報告会」を行いました。

3-2 京都府京都市登録衛生検査所精度管理委員会に参加し協力した。

4. 広報活動

会誌を 1 回 2008 Vol.35 (No.1) 発行しました。

会報を 6 回 (No.25～No.30) 発行し会の事業を広報しました。

ホームページを毎週更新し、事業活動の迅速な広報に努めました。

5. 総務事業

平成 20 年度の会員数は 960 人 (平成 21 年 3 月現在) でした。

毎月行事カレンダーを発行し、各種案内とともに個人宛に送付しました。

6. その他の事業

6-1 京都私立病院協会の院内感染対策推進事業の支援部員 5 名 (理事 1 名、微生物研究班推薦 4 名) を派遣し、病院観察を行いました。

6-2 近臨技主催行事である JICA 研修プログラムに協力しました。

期間: 平成 20 年 8 月 5 日～10 月 26 日 84 日間

平成 20 年度事業活動報告

事業部活動

京都府臨床検査技師会平成 20 年度定期総会

日 時: 平成 20 年 5 月 24 日 (土)

会 場: 京都教育文化センター

出席数: 515 名 (委任状出席 476 名)

第 43 回京都病院学会

日 時: 平成 20 年 6 月 8 日 (日)

場 所: 京都府医師会館、京都市立看護短期大学

主 題: 「地域医療連携」

特別公演: 山折哲雄 (宗教学者、元国際日本文化研究センター長)

参加者: 京臨技: 実行委員 1 名、実務委員 4 名

参加者数: 1,840 名

演題数:385 題

第 10 回新入・転入会員研修会

日 時:平成 20 年 9 月 5 日(金) 18:00~21:00

場 所:京都教育文化センター

主 題:チーム医療・感染症対策支援～京臨技の取組として～

講 師:京都第二赤十字病院検査部 芦田 英之

参加者:46 名(新入会員 20 名)

第 35 回「くらしと健康展」

日 時:平成 20 年 9 月 13 日～14 日

会 場:京都府総合見本市会館(パルスプラザ)

主 題:目指そう! 脱メタボ

参加者数:3,449 名

平成 20 年度医療推進協議会事業

日時:平成 20 年 10 月 19 日

会場:京都市勧業館(みやこめっせ)

主題:「みんなで老後を考えよう-社会保障が約束する安心の将来を目指して-」

講師名:広瀬理事、青山理事、高島理事、佐々木理事

参加者数:300 名

精度管理事業

期 間:平成 20 年 10 月 30 日～11 月 14 日

参加施設数:91 施設

京都府医師会・京都府臨床検査技師会合同学術講演会

日 時:平成 20 年 11 月 22 日(土) 15:00~17:00

場 所:メルパルク京都 6 階会議室

主 題:甲状腺疾患について

講 演 1:猪俣恵子 臨床検査技師;「甲状腺検査データの見方と臨床へのアプローチ」

講 演 2:佐々木一朗 内科医師;「甲状腺疾患への対応のしかた ～治療法の選択と患者さんへの説明のコツ、専門医へ依頼するケース～」

参加人数:100 名(医師会会員 51 人、技師会会員 39 人、賛助会員 8 名、非会員 2 人)

エイズ予防啓発活動

日 時:11 月 29 日(土) 11:00~15:00

場 所:「新風館」およびその周辺(京都市中京区烏丸御池交差点付近)

主 題:エイズ予防啓発活動(世界エイズデー)

参加者:実務委員 30 名(理事含む)

第 19 回京臨技北部学術発表会

日 時:平成 20 年 12 月 13 日(土) 12:45~17:00

場 所:コスタヴィノス(福知山市)

一般演題発表(6 題)

特別講演「未病学における臨床検査の役割-臨床検査技師の役割拡大に期待して-」

講 師:櫻林郁之介先生(自治医科大学教授)

全体参加人数: 85 人(会員 50 人贊助会員 30 人非会員 4 人学生 1 人)

一次救命処置講習会

事業名:救急処置講習会

日時:平成 21 年 1 月 24 日(土)

会場:京都保健衛生専門学校

主題:一次救命処置講習会(AED 使用方法)

参加者数:23 名

平成 20 年度編集委員会活動報告

《会誌》

京臨技会誌 2008 Vol.35 (No.1) (平成 20 年 7 月発行)

平成 20 年度定期総会議案書号

平成 20 年度定期総会報告

収支予算書

第 49 回近畿医学検査学会準備特別会計

平成 20 年度会報 (No.25~No.30)

《会報》

会報 No.25(平成 20 年 5 月 1 日号)

平成 20 年度京都府臨床検査技師会総会案内

ホルムアルデヒドの取り扱い規則

第 19 回日本臨床寄生虫学会のご案内

研修会報告(北部学術・一般・臨床化学・免疫血清・細胞病理)

理事会議事録(第 9 回、第 10 回)

市民公開講演のご案内

会報 No.26(平成 20 年 7 月 1 日号)

平成 20 年度京都府臨床検査技師会総会

平成 20 年度・21 年度役員紹介

第 57 回日本医学検査学会 in 北海道

市民公開講座 乳がんの検診と最新の診断・治療

理事会議事録(第 11 回、第 12 回)

会長就任のご挨拶

会報 No.27(平成 20 年 9 月 1 日号)

第 49 回近畿医学検査学会『みやこめっせ』で開催
OB の検査室訪問 ~宇治川病院~
第 3 回京都細胞診ワークショップ
研修会報告(北部学術・生理・血液・一般・輸血)
理事会議事録(第 1 回、第 2 回)

会報 No.28(平成 20 年 11 月 1 日号)

スキーツアー 2009 のご案内
OB の検査室訪問 第 2 回 ~日本バプテスト病院~
第 10 回新入・転入会員研修会
第 7 回尿細胞診別府カンファレンス 一泌尿器領域の細胞診一
理事会議事録(第 3 回、第 4 回)
奈良・京都 臨床検査技師会合同スキーツアー案内(詳細)

会報 No.29(平成 21 年 1 月 1 日号)

エイズ撲滅啓発キャンペーン報告
第 19 回京臨技北部学術発表会
第 35 回くらしと健康展・京都医療推進協議会イベント
理事会議事録(第 5 回、第 6 回)
第 49 回近畿医学検査学会(進捗状況)

会報 No.30(平成 21 年 3 月 1 日号)

京臨技精度管理調査合同報告会のご案内
漢字一文字で「平成 20 年度を振り返る」
理事会議事録(第 7 回、第 8 回)
第 4 回近畿医療フォーラムのご案内
近畿心血管治療ジョイントライブ 2009 のご案内

平成 20 年度学術部活動報告

A. 生理検査研究班

＜総括＞平成 20 年度は総数 428 名(9 回まで)方々に参加して頂いた。今年度は精度管理にて正解率が思わしくなかった領域を重点的に、講習会を開催した。また、今年度のテーマであった『生理検査手技の標準化』の方法論を各講師の先生方にコメントやアドバイスを頂いた。来年度は生理研究班の中で 2 グループに分け、より細分化した講習会を開催し、より多くの会員の参加が得られるように運用していく予定である

＜主旨＞『検査法の標準化に向けて』

1) 【研修会】 心電図研修会

日 時：平成 20 年 6 月 21 日
会 場：京都保健衛生専門学校
主 題：心電図の読み方 初中級編
講 師：増田 信弥 氏（京都民医連中央病院）
参加者：61 人（会員：44 人）

2) 【講演会】 呼吸機能検査セミナー

日 時：平成 20 年 7 月 12 日
会 場：京都保健衛生専門学校
行事名：肺機能検査
主 題：COPD の病態と呼吸機能検査
講 師：福岡 篤彦 医師（吉野町国民健康保険吉野病院 内科）
参加者：31 人（会員：29 人）

3) 【研修会】 超音波研修会

日 時：平成 20 年 8 月 2 日
会 場：東芝メディカルシステムズ株式会社 会議室
主 題：超音波基礎研修会
講 師：野見山 智生 氏（東芝メディカルシステムズ株式会社）
参加者：38 人（会員：36 人）

4) 【実技講習会】 超音波実技講習会

日 時：平成 20 年 9 月 13 日
会 場：京都保健衛生専門学校
主 題：心、腹部、血管領域実技講習会
講 師：8 名
参加者：61 人（会員：47 人）

5) 【研修会】 腹部超音波 上下腹部編

日 時：平成 20 年 10 月 11 日
会 場：京都保健衛生専門学校
主 題：腹部超音波 消化管を含めたスクリーニングの仕方
講 師：喜舎場 智之 氏（阪南中央病院）
参加者：49 人（会員：48 人）

6) 【研修会】 腹部超音波講演会 応用編

日 時：平成 20 年 10 月 30 日
会 場：京都保健衛生専門学校
主 題：腹部超音波応用編 ～他のモダリティとの違いを知る～
講 師：平井 靖 氏（三菱京都病院 放射線科）
参加者：44 人（会員：41 人）

7) 【講習会】 心臓超音波研修会

日 時：平成 20 年 11 月 29 日
会 場：京都保健衛生専門学校
主 題：心エコー検査 ルーチン検査の進め方～

講 師：松井 清明 技師（済生会滋賀県病院）

参加者：32 人（会員：31 人）

8) 【講演会】 末梢血管超音波講習会

日 時：平成 20 年 12 月 9 日

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：下肢動脈超音波検査のポイント

講 師：久保田 義則 技師（国立循環器病センター 生理機能検査部）

参加者：61 人（会員：49 人）

9) 【講演会】 脳波研修会

日 時：平成 21 年 2 月 7 日

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：脳波検査～脳波の基礎から波形の読み方まで～

講 師：池田 昭夫 先生（京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学臨床神経学 准教授）

参加者：51 人（会員：50 人）

B. 輸血検査研究班

＜総括＞『安全かつ適正な輸血を実施するために輸血検査部門として必要な知識および技術の習得を目的として研修会や実技講習会を行った。参加者はどの研修会や実技講習会とも例年より多く盛況であったが、実施回数が例年より少なくなった。』

1) 【研修会】 輸血検査基礎勉強会

日 時：平成 20 年 6 月 7 日（土）14：00～17：00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：輸血検査基礎勉強会

副 題：輸血検査に必要な基礎知識

講 師：小黒 博之 氏（オリンパス株式会社）

参加者：65 人（会員：53 人）

2) 【実技講習会】 輸血検査実技講習会

日 時：平成 20 年 7 月 5 日（土）13：00 ～17：00

会 場：京都保健衛生専門学校 第 1、第 2 実習室

主 題：輸血検査実技講習会 1

副 題：ABO・Rho(D) 血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ

講 師：小黒 博之 氏（オリンパス株式会社） 他 輸血検査研究班運営委員

参加者：42 人（会員：33 人）

3) 【実技講習会】 輸血検査実技講習会

日 時：平成 20 年 7 月 12 日（土）09:00 ～17：00

会 場：京都保健衛生専門学校 第 1、第 2 実習室

主 題：輸血検査実技講習会 2

副 題：ABO・Rho(D) 血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ、直接クームス試験、抗体解離同定試験（溶血性輸血副作用発生時の輸血検査）

講 師：小黒 博之 氏（オリンパス株式会社） 他 輸血検査研究班運営委員

参加者：39人（会員：33人）

4) 【研修会】輸血検査基礎勉強会

日 時：平成21年1月30日（金）18:30～20:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：輸血検査基礎勉強会

副 題：[消去法における新しい表記法] [輸血を前提としたA B O型検査の進歩と血液製剤の選択]

講 師：笛田 裕司 氏（京都府立医科大学付属病院輸血部） 小川 茂樹 氏（京都府赤十字センター）

参加者：56人（会員：52人）

C. 血清検査研究班

＜総括＞『血清検査研究班では、たった1回の学集会しか実施できなかった為、今後より他分野と協調し多くの方に参加していただけるような学習会を企画していきたい。』

1) 【研修会】免疫血清検査研修会

日 時：平成20年11月6日（木）18:30～20:00

会 場：京都保健衛生専門学校 1F 視聴覚室

主 題：HIT（ヘパリン起因性血小板減少症）のメカニズム

講 師：和中 敬子 先生（HIT情報センター）

参加者：18人（会員：18人）

D. 血液研究班

＜総括＞『今年度は血液凝固講演会1回、血液形態講演会2回、実技講習会1回と4回実施した。昨年度に続き、Case Study を班員の施設から順次紹介して頂き、それを参加者全員で考えるということを2回行った。また、講演内容は、協賛メーカーの協力のもと、最新の情報を得るために、静岡や長崎から講師に来ていただき 有意義な内容が受講できた。また、実技講習会も2年ぶりに開催したが、技師会ホームページ上にアップした翌日から、申し込みがあり、紙ベースでの案内が届くときには、すでに予約が一杯になり、断った方も複数名あった。顕微鏡を使用しての講習会は、非常に関心があり、今後も継続していきたいと思っている。年間を通して、今年度も参加者が多く、主催者としては満足いく活動であった。』

1) 【講演会】血液凝固講演会

日 時：平成20年6月14日（土）14:00～17:00

会 場：ホテル京阪京都

主 題1：Case Study 6

講 師1：林 美知子 氏

主 題2：血栓症と最新の情報—分子マーカーや最新の抗凝固薬について—

講 師2：小林 隆夫 氏

参加者：61人（会員：47人）（仮会員：1人）

2) 【講演会】血液形態講演会

日 時：平成20年11月15日（土）14:00～17:00

会 場：キャンパスプラザ京都

主 題1：Case Study 7

講 師1：高木 直美 氏

主 題 2：細胞表面形質検査および細胞形態を中心とした造血器腫瘍診断

講 師 2：鶴田 一人 氏

参加者：53 人（会員：44 人）

3) 【講演会】血液形態講演会

日 時：平成 21 年 1 月 17 日（土）14：00～17：00

会 場：キャンパスプラザ京都

主 題 1：京都府技師会血液分野精度管理報告

講 師 1：土田 幸生 氏

主 題 2：血液検査がもっと楽しくなるための方法

講 師 2：大畠 雅彦 氏

参加者：54 人（会員：45 人）（仮会員：1 人）

4) 【研修会】血液実技講習会

日 時：平成 21 年 2 月 28 日（土）09：00～17：00

会 場：京都大学医学部人間健康科学科

主 題：実践血液形態学講座－異形成はわかりますか－

講 師：血液研究班班員 梅村 茂人 氏

参加者：41 人（会員：40 人）（仮会員：1 人）

E. 臨床化学検査研究班

＜総括＞『学術部（理事）主導で研修会を贊助会員企業の共催で開催していたが、分析化学に卓越された会員の協力を得て研修会が行えた。研究班班員の講演や会員施設の若手技師数名による発表も行い、内容豊富で近年にない多数の参加があった。』

1) 【研修会】臨床化学検査研修会 1

日 時：平成 20 年 4 月 15 日（火）18：30～20：30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題 1：脂質関連の検査項目について～LDL コレステロールを中心に～

主 題 2：脂質検査について～LDL コレステロールと Rem1 コレステロール～

講 師 1：日野 浩一 氏（積水メディカル株式会社）

講 師 2：宮内 一人 氏（協和メデックス株式会社）

参加者：28 人（会員：19 人）

2) 【研修会】臨床化学検査研修会 2

日 時：平成 20 年 6 月 24 日（火）18：30～20：30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題 1：LIA 法及び TIA 法の基礎と応用

主 題 2：よくわかる血清情報、二波長測光および 2 ポイント法

講 師 1：佐久間 誠 氏（栄研化学株式会社）

講 師 2：藤本 一満 技師（株式会社ファルコバイオシステムズ）

参加者：35 人（会員：19 人）（仮会員：2 人）（学生：4 人）

3) 【講演会】臨床化学検査講演会 1

日 時：平成 20 年 8 月 26 日（火）18：30～20：30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題 1：日本における POCT の現状 ～POCT が私たちに投げかけていること～

主 題 2：POCT 機器の測定・運用・通信について

講 師 1：松尾 收二 先生（天理よろづ相談所病院 臨床病理部）

講 師 2：井上 篤 氏（扶桑薬品株式会社）

参加者：31 人（会員：17 人）（学生：2 人）

4) 【研修会】臨床化学検査研修会 3

日 時：平成 20 年 10 月 29 日（火）18：30～20：30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題 1：HbA1c の生化学・測定法・単位について

主 題 2：各社 HbA1c 測定試薬の特性について

講 師 1：後藤 直樹 技師（京都保健衛生専門学校）

講 師 1：和田 哲 氏（株式会社ファルコバイオシステムズ）

参加者：42 人（会員：29 人）

5) 【研修会】臨床化学検査研修会 4

日 時：平成 20 年 11 月 29 日（土） 15：00～17：00

会 場：京都保健衛生専門学校 202 教室

主 題 1：臨床検査のための不確かさについて知ろう

主 題 2：ISO 15189 における SOP について

講 師 1：新井 堅仁 氏（関東化学株式会社）

講 師 2：飯田 一博 技師（株式会社いかがく）

参加者：11 人（会員：6 人）

6) 【研修会】臨床化学検査研修会 5

日 時：平成 21 年 1 月 27 日（火）18：30～20：30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題 1：自動分析における異常データの見方

講 師 1：小島 和茂 氏（日本電子株式会社）

主 題 2：日常遭遇した奇異なデータ ②～⑤

講 師 2：松原 卓也 技師（株式会社ファルコバイオシステムズ） 小野里 有希 技師（堀川病院）

小島 彩 技師（京都民医連中央病院） 飯田 一博 技師（株式会社いかがく）

参加者：45 人（会員：36 人）

7) 【研修会】臨床化学検査研修会 6

日 時：平成 20 年 2 月 24 日（火）18：30～20：30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題 1：新規 HDL コレステロール測定試薬について

主 題 2：動脈硬化の進展・退縮を予測する指標「 LDL-C/HDL-C 比 」について

講 師 1：片山 有基 氏（協和メデックス株式会社）

講 師 2：古川 達也 氏（アストラゼネカ株式会社）

参加者：36 人（会員：26 人）

F. 病理検査研究班

＜総括＞『昨年に引き続き合同講演会を開催した。非常に多くの参加を頂き大変盛況であった。この合同講演会は次年度より近畿医学検査学会主催となる。精度管理報告会が合同となつたため、精度管理報告会及び、同時に開催していた研修会が行えず、研修会が少なくなった。来年度以降も会員の知識、技術の向上ができるようなものを開催していきたい。』

1) 【講演会】病理分野講演会

日 時：平成20年8月23日（土）14：00～17：40

会 場：大阪医科大学 PA会館 1階

主 題1：パネルディスカッション

副 題1：胆・脾領域の病理・細胞診の検体処理の実際

講 師：林 裕司 氏（社会保険滋賀病院）白井 孝夫 氏（京都大学医学部附属病院）棚田 諭 氏（大阪医科大学附属病院）東 誠二 氏（宝塚市立病院）竹中 明美 氏（大阪府立成人病センター）

主 題2：胆、脾腫瘍の病理

副 題2：胆汁、脾液におちる可能性のある腫瘍について

講 師：柳澤 昭夫 氏（京都府立医科大学大学院 医学研究科人体病理学教授）

協 賛：細胞検査研究班、大阪府臨床検査技師会、兵庫県臨床検査技師会、滋賀県臨床検査技師会

参加者：107人（会員：20人）

2) 【研修会】病理分野研修会

日 時：平成20年11月29日（土）14：00～17：00

会 場：京都大学医学部附属病院 検査部会議室

主 題1：「連続」「迅速」自動固定包埋装置を用いた新たな可能性

講 師：尾上 隆 氏（サクラファインテックジャパン株式会社）

主 題2：病理組織 迅速処理の実際

副 題2：迅速機器の使用経験及び今後の展望

講師名：白井 孝夫 氏（京都大学医学部附属病院）

協 賛：サクラファインテックジャパン株式会社

参加者：9人（会員：6人）

G. 細胞検査研究班

＜総括＞8月後半に病理・細胞分野合同講演会（4府県合同）を開催した。残暑厳しい中、100名を越える非常に多くの方々に参加を頂き盛況のなかに終了することができた。本講演会は、次年度より近畿医学検査学会主催となる。2月後半には本年で第3回目となる奈良県（主催）との合同講演会を開催した。今回は、悪性リンパ腫をテーマに講演会を開催したところ、細胞検査に携わる技師のみならず、血液検査に携わる技師の参加も多く、また、大阪および兵庫県からも参加頂いた。回を重ねるごとに参加者も増えており盛況となつてきている。本年は、精度管理報告会行えなかった。次年度以降も会員の有益な知識、技術の向上ができる研修会・講演会を開催したい。

1) 【実技講習会】細胞分野実技講習会

日 時：平成20年6月21日（土）13：00～17：00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：婦人科内膜細胞診の講義と実技講習会

講 師：清水 恵子 氏（済生会 野江病院）

協賛：日本臨床細胞学会京都府支部

参加者：29人（会員：24人）

2) 【研修会】細胞分野研修会

日 時：平成 20 年 10 月 11 日（土）14：00～17：00

会 場：京都府立医大 臨床講義棟

主 題：細胞診スライド模擬試験

講 師：黒川 聰 氏（国立病院機構 滋賀病院）

参加者：24人（会員：14人）

3) 【講演会】細胞分野（京都、奈良）合同講演会

日 時：平成 21 年 2 月 21 日（土）14：00～17：00

会 場：奈良市総合医療検査センター

主 題 1：悪性リンパ腫治療の現状と細胞診の関わり

講 師 1：中村 忍 先生（奈良県立医科大学総合医療学講座）

主 題 2：WHO にもとづく悪性リンパ腫の細胞像と検査

講 師 2：西 国広 氏（株式会社エスアールエル 福岡ラボラトリー）

合 同：奈良県臨床検査技師会・日本臨床細胞学会京都府支部・日本臨床細胞学会奈良県支部

参加者：55人（会員：11人）

H. 一般検査研究班

＜総括＞『今年度は、尿定性の基礎および一般検査領域で扱う形態検査（尿沈渣、髄液、穿刺液）と尿沈渣の実技講習会と研修会、精度管理事業の方も例年通り尿沈渣の写真サーベイと髄液の写真サーベイを実施し、全問ではなかったが、比較的良好な正解率を得ることができ、尿沈渣検査法 2000 および髄液検査法 2002 の内容が会員に浸透していると思われた』。

1) 【研修会】一般検査分野研修会

日 時：平成 20 年 6 月 28 日（土）14：00～16：00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会

副 題：一般検査基礎講座 1 「尿定性検査の基礎」

講師名：松田 英子 氏（和光純薬工業株式会社）

参加者：31 人（会員：24 人）（仮会員：3 人）

2) 【研修会】一般検査分野研修会

日 時：平成 20 年 9 月 8 日（土）14：00～16：00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会

副 題：一般検査基礎講座 2 「尿沈渣検査法：上皮細胞類・異型細胞」

講 師：山路 順子 技師（京都大学医学部附属病院）

参加者：39 人（会員：36 人）（仮会員：1 人）

3) 【研修会】一般検査分野研修会

日 時：平成 20 年 9 月 23 日（土）14：00～16：00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会
副 題：一般検査基礎講座3 「尿沈渣検査法：円柱類」
講 師：土井 翼 技師（三菱京都病院）
参加者：31人（会員：29人）（仮会員：1人）

4) 【研修会】一般検査分野研修会

日 時：平成20年10月21日（土）14:00～16:00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 研修会

副 題：一般検査基礎講座4 「尿沈渣検査法：血球類」

講 師：堀田 真希 技師（大阪大学医学部附属病院）

参加者：26人（会員：23人）（仮会員：1人）

5) 【実技講習会】一般検査分野実技講習会

日 時：平成20年11月29日（土）13:30～16:30

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題：一般検査分野 実技講習会

副 題：尿沈渣鏡検のポイント

講 師：佐伯 仁志 技師（国立病院機構 京都医療センター）

参加者：21人（会員：19人）（仮会員：1人）

6) 【研修会】一般検査分野 研修会

日 時：平成21年1月17日（土）13:30～16:30

会 場：京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻 273（第5講義室）

主 題：一般検査分野 研修会

副 題：そこが知りたい！便潜血、ヘモグロビン検査

講 師：坂元 武 氏（栄研化学株式会社）

副 題：尿沈渣検査がラクになる細胞集塊鏡検法

講 師：宿谷 賢一 技師（東京大学医学部附属病院）

参加者：53人（会員：51人）

I. 微生物検査研究班

＜総括＞『今年度は臨床の診療に具体的に貢献できる微生物検査室の構築を意識した活動を目指し、新しい情報や基本検査技術の修得を目指すことを目標とし、技術習得の可能な実技講習形式の研修会に重点を置いて企画しました。本年度は、平成20年8月に“日臨技 感染制御部門研修会”を企画開催し、100名近い日臨技会員の方に参加いただきました。講義内容も高い評価をいただき、無事、成功裏に終えることが出来ました。この準備・開催の影響もあり、平成20年度学術計画の企画変更があり、京臨技会員の皆様にご迷惑をおかけすることになり大変申し訳ありませんでした。来年度は計画通り開催できるよう、各企画を準備する予定です。』

1) 【研修会】微生物検査研修会

日 時：平成21年2月17日（火）18:30～20:00

会 場：ハートピア京都

主 題：血液培養の実践

講 師：田中 美智男 氏（京都大学医学部附属病院）

参加者：21 人

2) 【研修会】微生物検査研修会

日 時：平成 21 年 3 月 19 日（木）18:30～20:00

会 場：京都テルサ第 3 セミナー室

主 題：感染症の診断・治療と感染症検査の関わり

講 師：小松 方（ファルコバイオシステムズ総合研究所）

参加者：15 人

3) 【実技講習会】微生物検査

日 時：平成 21 年 3 月 20 日（金）15:00～18:00

会 場：京都府立医科大学基礎医学学舎 1 階 第 2 実習室

主 題：寄生虫学の現在（いま）とニューモシスチス肺炎

講 師：山田 稔 先生（京都府立医科大学寄生病態学教室）

参加者：20 人

J. 情報システム研究班

＜総括＞昨今、Microsoft 社の Word、Excel、PowerPoint を使用する機会が多くなってきている。病院や検査センターでの業務においても然りで、書類作成、プレゼンテーション作成に必須となるソフトウェアの代表である。これらのソフトウェアをより効率的に使いこなせるようになれば、そういった書類作成にかかる時間を減らすことができ、検査業務により集中することができる。そういった背景から情報システム分野では、これらのソフトウェアを使えるようになるための実技講習会を開催した。

また、例年パソコン講座を開催してきた実績から、私立病院協会からパソコン講師派遣の依頼を受け、情報システム分野主催のものとで合計 4 回の実技講習会に携わった。

情報システム分野の活動としては、他に毎週の京臨技ホームページ更新とメールマガジンにて、研修会予定など最新の情報を会員にお知らせしている。

1) 【実技講習会】

日 時：平成 20 年 9 月 25 日（木）18:30～20:30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題：パソコン講座 プrezentation 作成の基礎（PowerPoint 2002）

講 師：増田 健太 技師（京都大学医学部附属病院）情報システム分野班員

主 催：私立病院協会

2) 【実技講習会】

日 時：平成 20 年 11 月 13 日（木）18:30～20:30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題：パソコン講座 プrezentation 作成の基礎（PowerPoint 2002）

講 師：増田 健太 技師（京都大学医学部附属病院）情報システム分野班員

主 催：私立病院協会

3) 【実技講習会】

日 時：平成 21 年 1 月 29 日（木）18:30～20:30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題：パソコン講座 プrezentation 作成の基礎（PowerPoint 2002）

講 師：増田 健太 技師（京都大学医学部附属病院）情報システム分野班員

主 催：京都府臨床検査技師会

参加者：3人（会員：3人）

4) 【実技講習会】

日 時：平成 21 年 2 月 26 日（木）18:30～20:30

会 場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題：Excel 2003 講習会（初級編）表作成・グラフ作成

講 師：伊藤 昇平 氏（医療法人 西陣健康会 堀川病院）情報システム分野班員

主 催：京都府臨床検査技師会

K. 北部学術研究班

＜総括＞『お互いの向上と若手の育成、施設間の連携を深める』を活動方針とした本年度は、「時間外・日当直」の対応を統一テーマにしてできるだけ各分野を網羅する形で、年間を通じて 5 回の研修会を開催することが出来た。また北部学術発表会では、一般演題発表と特別講演を企画し、19 回目の開催を活発に終えることが出来た。

1) 【研修会】北部学術研究班生理検査研修会

日 時：平成 20 年 7 月 18 日（金）19:00～20:00

会 場：舞鶴市西駅交流センター

主 題：緊急時の心電図判読

講 師：柄本 敦典 氏（株式会社フクダ電子）

座 長：小畠 義規 氏（舞鶴共済病院）

参加者：39 人（会員：33 人）

2) 【研修会】北部学術研究班血液検査研修会

日 時：平成 20 年 8 月 22 日（金）19:00～20:30

会 場：市立福知山市民病院

主 題：ピットホールに陥らないために

講 師：根来 利次 氏（シスメックス株式会社）

座 長：高見 昌幸 氏（舞鶴赤十字病院）

参加者：29 人（会員：25 人）

3) 【研修会】北部学術研究班輸血検査研修会

日 時：平成 20 年 9 月 19 日（金）19:00～20:00

会 場：綾部市立病院

主 題：緊急時の輸血検査と血液製剤の選択

講 師：小黒 博之 氏（オリンパス株式会社）

座 長：村上 郁子 氏（舞鶴共済病院）

参加者：24 人（会員：24 人）

4) 【研修会】北部学術研究班一般検査研修会

日 時：平成 20 年 10 月 24 日（金）19:00～20:30

会 場：綾部市立病院

主 題：時間外検査…一般検査（尿沈渣・髄液）

講 師：佐伯 仁志 氏（国立病院機構京都医療センター）

座長：滝本 寿史 氏（綾部市立病院）

参加者：24人（会員：21人）

5) 【研修会】北部学術研究班臨床化学研修会

日 時：平成20年11月28日（金）19:00～20:30

会 場：舞鶴市西駅交流センター

主 題：緊急現場からの提言：日当直時の考え方と心構え～実例を通して～

講 師：竹下 仁 氏（大阪府三島救命救急センター）

座 長：今田 尚文 氏（市立舞鶴市民病院）

参加者：20人（会員：17人）

L. チーム医療

＜総括＞『京臨技臨床化学研究班と1回、京都CDEの会と2回、京都北部CDEの会と1回の共催で糖尿病療養指導関連の講演会を4回行った。京臨技主催の講演会はSMBGの実技講習もあり好評であった。糖尿病療養指導研修会に参加する京臨技会員は少ないが、参加者は施設の中でチーム医療の一員として活躍されている。または、活躍しようとしている。』

1) 【講演会】糖尿病療養指導士講演会（京都北部CDEの会講習会）

日 時：平成20年6月28日（土）14:00～18:00

会 場：舞鶴医療センター 地域医療研修センター

主 題1：糖尿病足病変のチームアプローチ

講 師1：中川内 玲子 氏（京都医療センター 糖尿病フットセンター）

主 題2：糖尿病足病変予防のためのセルフフットケア教育と予防的フットケア

講 師2：泉 有紀 氏（京都医療センター 糖尿病フットセンター 米国足病医）

主 題3：糖尿病患者に適した靴と中敷

講 師3：桜井 寿美 氏（株式会社フットクリエイト）

主 題4：当院のフットケア現状と課題

講 師4：村上 美智子 氏（綾部市立病院 看護部）

参加者：109人（会員：3人）

2) 【講演会】糖尿病療養指導士講演会（京都CDEの会講習会）

日 時：平成20年9月23日（火）13:45～17:20

会 場：キャンパスプラザ京都 4階 第2会議室

『高齢者糖尿病患者への支援～地域連携ネットワークを考える～

主 題1：高齢者糖尿病の対応

講 師1：中埜 幸治 氏（公立山城病院 病院長）

主 題2：訪問栄養指導の実際

講 師2：三毛 光子氏（生長会愛風病院 管理栄養科）

主 題3：訪問薬剤指導の実際

講 師3：長友 孝純 氏（生長会愛風病院 薬剤科）

主 題4：高齢者在宅看護支援の実際

講 師4：下の内 暁子 氏（京都保健会上京病院 看護科）

参加者：108人（会員：5人）

3) 【講演会】チーム医療・臨床化学研究班講演会

日 時：平成 20 年 11 月 8 日（土）14：30～18：00

会 場：京都保健衛生専門学校

主 題 1：糖尿病指導の実際

講 師 1：肥後 直子 氏（京都府立医科大学附属病院 看護科）

主 題 2：現代の難病 メタボリック症候群に挑む

講 師 2：細田 公則 氏（京都大学大学院医学研究科人間健康科学学科 教授）

主 題 3：SMBG についての総論

講 師 3：藤本 一満 氏（株式会社ファルコバイオシステムズ）

主 題 4：SMBG 実技演習

講 師 4：藤本 一満 氏（株式会社ファルコバイオシステムズ）

参加者：23 人（会員：12 人）

4) 【講演会】糖尿病療養指導士講演会（京都 CDE の会講習会）

日 時：平成 20 年 3 月 23 日（火）13：45～17：20

会 場：キャンパスプラザ京都 第 1 講義室

『糖尿病患者をチームで支える』

主 題 1：糖尿病腎症における薬物療法のポイント

講 師 1：三宅 建文 氏（西陣病院 薬剤科）

主 題 2：糖尿病腎症の進行をきっかけに、療養生活の見直しに至った事例

講 師 2：村内 千代 氏（関西医科大学附属滝井病院 看護部）

主 題 3：糖尿病の臨床検査 当院の糖尿病教室より

講 師 3：小林 丈夫 氏（京都第二赤十字病院 中央検査部）

主 題 4：腎症患者への支援 管理栄養士として

講 師 4：菅野 美和子 氏（京都大学附属病院 栄養部）

主 題 5：糖尿病腎症の診断と治療 チーム医療の重要性

講 師 5：古家 大祐 氏（金沢医科大学 内分泌制御学教授）

参加者：67 人（会員：7 人）